

農業の振興

次に、本市の基盤産業である農業の振興であります。畜産に関する家畜排せつ物の適正処理を進めるとともに、自然条件を生かした伝統的地場産品、収益性の高い果樹、花卉、野菜、畜産物など、積極的な振興策を講じてまいります。

昨年度より制度化された中山間地域等直接支払制度については、昨年度、九集落が取り組み、約八十三ヘクタールを該当農地としたわけでありませんが、本年度においてもより一層の取り組み拡大を推進してまいります。

また、米の生産調整推進事業においては、昨年度は「そば」の作付け誘導策を講じ、耕作放棄農地の防止に資してまいりました。本年度においては、より一層の栽培面積の拡大に努め、実転作による農家所得の向上と「白石高原そば」と名づけた「そば」を核とした地域活性化を図ってまいります。

柿の里構想においては、「柿植栽」の団地化を推進してきたところではありますが、柿を原料とした新商品開発に向けたより一層の連携を図るとともに、酒米についても良品質米の生産に努め、産地化を図ってまいります。

さらに、農村居住環境の保全と改善についてであります。斎川板木線の農道整備を実施するとともに、昨年度から調査等に着手した郡山、祢宜内、小下倉、八宮、斎川鹿の子地区において、受益面積が合わせて二百八十三・六ヘクタールに係る水路及びため池改修事業などの早期完成に向け鋭意努力し、農業生産基盤の整備と水害のない環境整備を積極的に推進してまいります。

林道整備事業に係る砂押山線については、昨年度において開催した公共事業再評価委員会の意見

を尊重し、事業を継続してまいります。

商工業・観光

次に、商工業関係であります。昨年十二月に策定した「白石市中心市街地活性化基本計画」にのっとり、実効性のある市街地整備の実施や街づくり組織（TMO）の設置支援などのソフト事業を積極的に推進してまいります。

特に、公立刈田総合病院跡地活用事業、壽丸屋敷リニューアル整備事業及び駅周辺整備事業としての白石駅自由通路設置事業の三事業を重点整備事業として位置付け、着実な事業展開を図ってまいります。

また、市内の若手商業者グループが行なう商店街活性化事業に対して積極的に支援してまいります。

観光面では、市営により三年目を迎えるみやぎ蔵王白石スキー場については、NPO法人「不忘アザレア」に委託したことが大きな成果を収め、十二年度も黒字になる見込みであります。本年度においても、最も有利な辺地債を受けながら人工降雪機、圧雪車などを導入し、確実な営業期間の確保を図りながら、経営の安定と地元住民の冬期間の雇用確保及び交流人口の拡大に努めてまいります。

労働面では、働く女性の増加と働き方の多様化に伴い、より細やかで多様な育児支援が求められていることから、本年度、新たに安心して子育てができる相互援助活動を行う組織として、「ファミリーサポートセンター」の設置を進めてまいります。

現在、センター設置に向けて、「保育サービス講習会」を開催し、保育サービスを提供できる人材の育成に努めているところであり、センターの設

置によって臨時的、突発的なニーズに応じられる柔軟な育児支援体制が整備できるものと確信いたします。

「市民と行政のパートナーシップ」と「男女共同参画社会」の実現

以上、平成十三年度の重点事業については、今まで述べたとおりであります。また、「ホワイトプランパートII」の四本の柱の目標達成のための手法となり、最優先すべき課題となるのが「市民と行政のパートナーシップ」と「男女共同参画社会」の実現であります。

「市民と行政のパートナーシップ」は、第四次白石市総合計画基本構想の目標として掲げており、多様な価値観を持った市民のニーズにこたえ、市民が高い満足度を実感できる暮らしを実現するために、市民と行政との多様な重層的な連携・協働によって、「くらし日本一のまち」をつくりあげていくことを目指すものであります。

具体的には、「これまで先進的に整備された施設を活用するソフト事業としての市民と行政のパートナーシップ」、「ボランティアやNPOなどの市民活動のネットワークと力づけ促進」、「蔵王山系や河川など白石の自然環境や地域に根ざした市民と行政のパートナーシップ」、「市民の知恵やNPOのノウハウを生かすパートナーシップ」、「広く多様な市民に広がるパートナーシップ」の五つを、「白石型パートナーシップ」として、その構築に努めてまいります。

また、「男女共同参画社会」にあつては、家庭内、地域、職場における男女がお互いの性の違いを認め、尊重し合うこと（こと）を前提としながら、男女が平等に発言し、力を発揮できる環境づくり

を目指すものであります。

これまでも各種講座や講演会の開催、情報誌の発行、写真コンクールなど、市民の意識向上に努めてきたところでありますが、今後も市職員幹部や各種委員会、審議会委員等の積極的な女性の登用に努めるとともに、本格的な男女共同参画社会を目指すために、本年度、第四次白石市総合計画を踏まえながら市民の方々のご意見を十分にいただき、基本構想、基本計画、条例づくりを進めてまいります。

産廃処分場建設計画の白紙撤回

最後になりましたが、小原上戸沢産廃処分場計画問題の取り組みについては、住民、議会、行政が一体となり、先に述べた「水道水源保護条例」を含め、今後あらゆる手段をもって本計画に対抗し、上戸沢地区の産廃処分場建設計画が白紙撤回されるまで、粘り強い運動を継続展開してまいります。

冒頭に申し上げましたように、本年は二十一世紀元年、「ホワイトプランパートII」スタートの年であり、さらなる市民総参画のまちづくりの年でもあります。

私は二十一世紀に悔いのない活力に満ちた白石市を建設するために、全力投球で市政を執行してまいる所存であります。そのためには、ぜひとも議員諸賢並びに市民各位のご理解が必要であります。

今後とも、市行政全般に対するなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、施政の所信表明といたします。



「男女共同参画社会」実現に向けて開かれている講演会



NPO法人の運営となって3年目を迎える「白石スキー場」



若手商業者グループが行っている商店街活性化事業のひとつ「サンタGOGO市」



「白石高原そば」の収穫を目指して、昨年より栽培を始めたそば畑（福岡八宮大網前地区）